



在宅療養支援 楓の風  
グループ副代表

首都大学東京大学院人間健康科学研究科 兼任講師  
北里大学看護学部 非常勤講師  
公益財団法人 昭和大学医学・医療振興財団 理事

看護学修士/経営学修士

野島 あけみ



医療法人社団 楓の風  
在宅療養支援クリニック かえでの風  
理事長・やまと院長

医師/経営学修士 (MBA)

宮木 大

日頃より、病院での勉強会や連携会議等の参加等の貴重な学びの機会を頂き、また、ご利用者様のご紹介にあたりましても、退院時カンファレンスの開催や詳細なサマリーなどのご配慮を頂き、継続した医療・ケアの提供にとっても助けとなっております。心より御礼申し上げます。

私たち楓の風では、病院退院調整のご担当者様やスタッフの皆様からは、患者様や、病院での医療・看護について丁寧なご紹介を頂きながらも、引き継がせて頂いた後の、在宅医療、訪問看護から病院へのフィードバックが不十分ではないかと考えてきました。また、退院調整のご担当者様からも、退院後どのように暮らしているのか、どんな医療・看護を受けているのか知る事が出来ないで、ご自身の退院調整の評価が出来ないというお話を伺う事もありました。

そこで、この度、楓の風の在宅医療、訪問看護の実際を定期的にご報告させて頂くこのようなニュースレターを発行させて頂き、病院と在宅の距離を更に縮める一助としたいと考えました。第一号となります今回は、楓の風在宅医療、看護の昨年1年間の支援実績をご報告させて頂きます。今後も定期的に、楓の風の在宅医療、看護の実践、退院された患者様方の在宅療養の実際などを、在宅医療、看護のスタッフから、ご報告させて頂きたく思いますので、一読頂けましたら幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。

在宅療養支援 楓の風グループ本部  
〒194-0011 東京都町田市成瀬が丘2-2-2ワタヤビル3F  
Tel: 042-788-0755 Fax: 042-788-1400  
E-mail: kaede-info@kaedenokaze.com  
http://www.kaedenokaze.com

## ACPとSDM①

近年、厚労省はACP(Advance Care Planning)について推奨しています。これは人生の最終段階の医療・ケアについて本人が家族や医療・ケアを行うチームと事前に繰り返し話し合うプロセスのことです。この考えかたを盛り込み「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」が策定、改定されています。

ACPは元々、欧米やカナダ、オーストラリアなどで発展してきた考え方で各国でも考え方が少しずつ異なります。文化的な背景、家族の定義、死生学などによって変わるのは当然で、今後日本でも議論が深まることによって日本独自のACPが醸成されていくのではないかと考えています。

他方、SDM(Shared Decision making)という考え方も欧米では21世紀に入ってから徐々に浸透しています。「協働的意思決定」と訳されることが多いのですが、これは医療者が医療情報を患者に伝え、患者は積極的に自分の価値観や考え方を医療者に伝えることで、医療者と患者が情報を共有し、最善の治療法を選択するという行動のことです。決められた方針に従った結果についての責任は医療者だけ、患者だけが負うのではなく、双方が共有します。このACPとSDMについて、重なる部分、違う部分などがありますので、次回以降詳しく説明します。



“家で生きる”で  
検索!



http://家で生きる.jp

家で生きる 検索



## 活動報告 News Letter

February 2020  
Vol.01



第1号 2020年2月発行  
発行者: 株式会社 楓の風  
発行責任者: 代表 小室 貴之  
東京都町田市成瀬が丘2-2-2  
ワタヤビル3F  
TEL: 042-788-0755  
FAX: 042-788-1400  
E-mail: kaede-info@kaedenokaze.com  
http://www.kaedenokaze.com

在宅療養支援 楓の風グループ活動報告

## 在宅医療・看護は NBM

日頃は大変お世話になっております。私たち楓の風が訪問看護活動を通じて在宅療養支援に関わるようになってから10年の節目を迎え、今後私たちの活動を定期的に報告させていただくために本誌を発行させていただきます。今後四半期に一回のペースで、時折私たちの出発点であるデイサービスによる自立支援ケアの実践報告も織り交ぜながら、在宅療養支援 楓の風グループの活動報告をさせていただきたいと思います。



さて、本誌1号では私たちが大切にしているNBMについて、近代ホスピスの母、シシリー・ソルダース先生の言葉と共にお伝えします。

「話を聞くこと自身が、多くの症状に対して治療効果がある。不安と抑うつは薬剤によっても改善するが、最も有効なのは話を聞くことである。」シシリー・ソルダース

英国ロンドンの郊外で看護師としてホスピス活動を始めたシシリー・ソルダースは、後にソーシャルワーカー、そして医師となり、数多くの末期で苦痛を抱える患者に向き合い、そしてトータルペインの基盤を確立しながらも、さらに患者の話を聞くことの重要性を繰り返し唱えていたそうです。つまり、シシリー・ソルダースはナラティブアプローチを重要視していたのです。

ナラティブアプローチとは利用者が自身の疾患や状況をどのように認識し、対処しているかについての「語り」を問題解決に役立てるケア手法です。

そしてナラティブには次の2つのストーリーがあります。

### 1. ドミナント・ストーリー

対象者を支配している確立された物語で、こだわりや固定観念に縛られ、しばしば対象者の苦痛の源泉となっています。生活機能の低下した高齢者は目標達成のために動員できる心身機能や時間・労力などのリソースが限定され、過去の経験や意思決定が役に立たない、そして昔とは異なる自己の状況にどう対応して役割獲得や社会参加したらよいかわからない状況に陥り、不安と抑うつ状態に陥るとされています。

### 2. オルタナティブ・ストーリー

事実の見方を変えて違う面からの発見で編集し直した物語で、一旦喪失した役割や社会参加のうち、どれが再獲得可能かの判断は自身だけでは難しく、支援者との対話によって、達成の見込みや必要なプロセスを発見し、その獲得に向けたオルタナティブ・ストーリーを自身で新たに構成できれば、これが対象者の自己選択、自己決定の直接的な支援に当たるとされています。

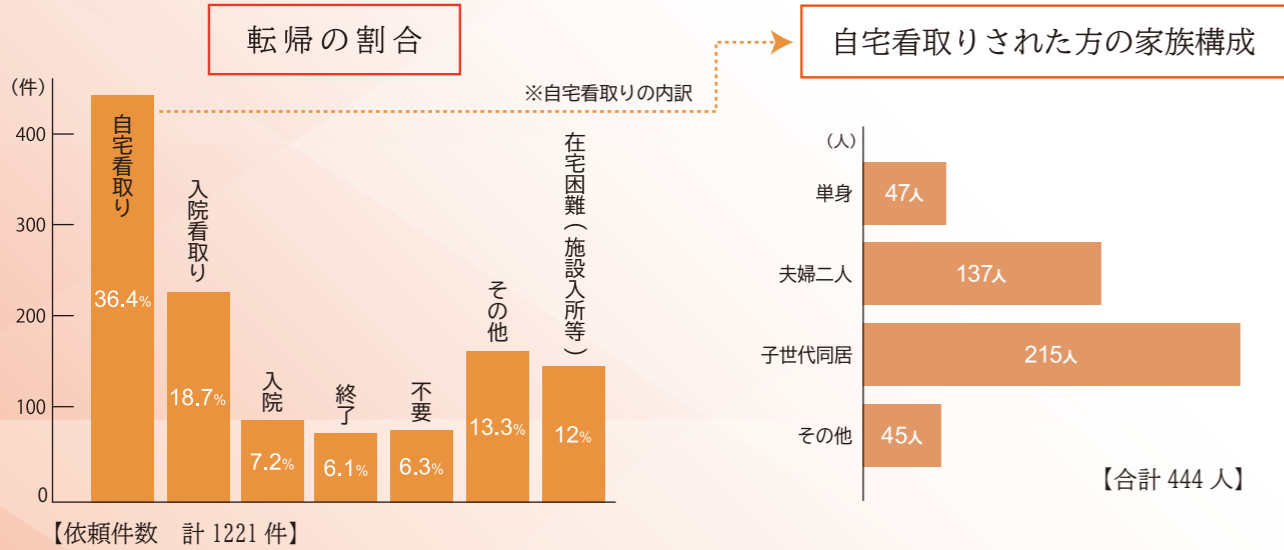
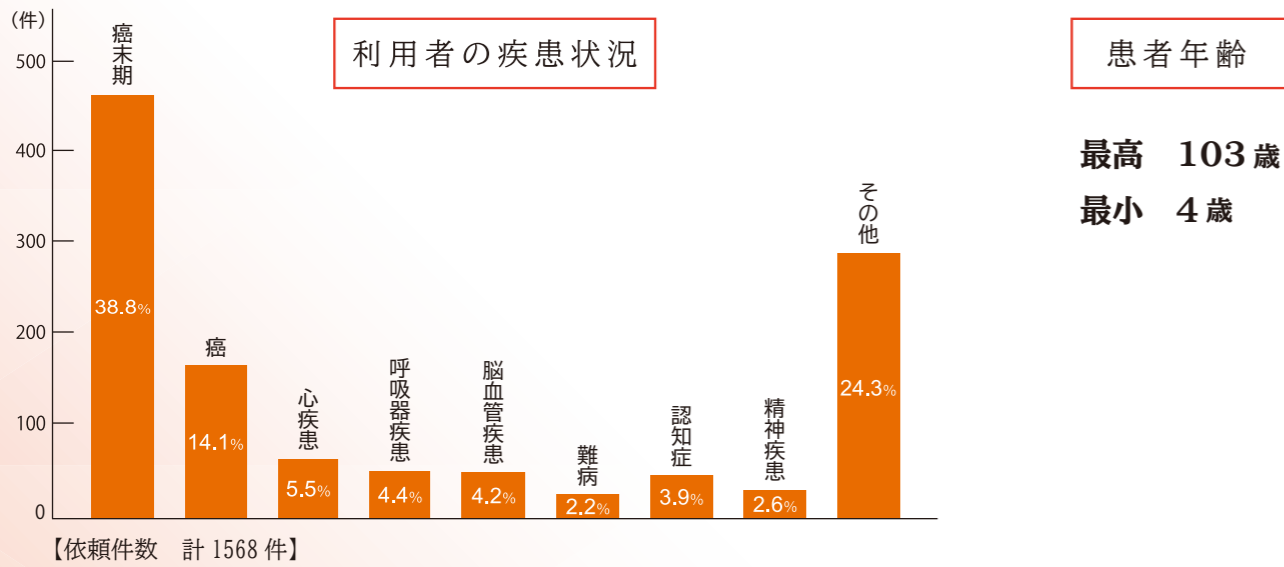
私たち楓の風のスタッフはNBMを大切に、ドミナント・ストーリーによって苦しみから抜け出すことを困難とする数多くの患者様の一人一人と向き合い、対話を通じてオルタナティブ・ストーリーを紡ぎながら苦しみを解き、残された大切な時間、存在意義を感じながら生き抜いていただけるよう、最大限の支援を行ってまいりたいと思います。

在宅療養支援 楓の風グループ  
代表 小室 貴之

# 訪問看護活動実績

2019.01 ~ 2019.12

「楓の風」は、最期まで家で自分の人生を生きることのできる社会を実現するため、開設以来、特にがん末期の方々へのケア提供を積極的に取り組んできました。ご利用いただきました半数近くが、がん及びがん末期の方々です。また、在宅看取りの家族構成では独居が1割、老夫婦2人が4割で半数を占めており「独居、老老」でも在宅看取りが可能であることがわかります。



## 事例報告 #01

「トイレから学ぶ、大切にしたいこと」

元気な人であればトイレは自分で行きます。排泄は非常にプライベートなことなので家族にも関与されたくありません。しかし誰でも他者の手を借りなければならない時期がきます。それが急激に訪れるのが末期癌の療養者です。癌は多くのことを奪っていきます。ある日を境に起き上がる力や歩く力が減退してトイレが難しくなります。この変化は甚大であり在宅療養の継続の分岐点にもなります。排泄で家族や他者の手を煩わせたくないが一人では始末できないといった問題、自分にもその時期が来たという現実と直面するのです。中には亡くなる直前までオムツを使わない方々がいました。歯を食いしばり車椅子に移動し這うようにトイレに行く50代の男性、ベッド脇のポータブルトイレに倒れこむように移る70代の女性。下着の上げ下げさえ一人では難しく無謀にすら見えるのですが、排泄だけは自分の力でと彼等は訴えていたのです。その姿は誰も侵してはならない人間の尊厳である、これだけは奪われたくないのだと私には映りました。この姿勢を大切に寄り添うことを皆様から学んでいます。

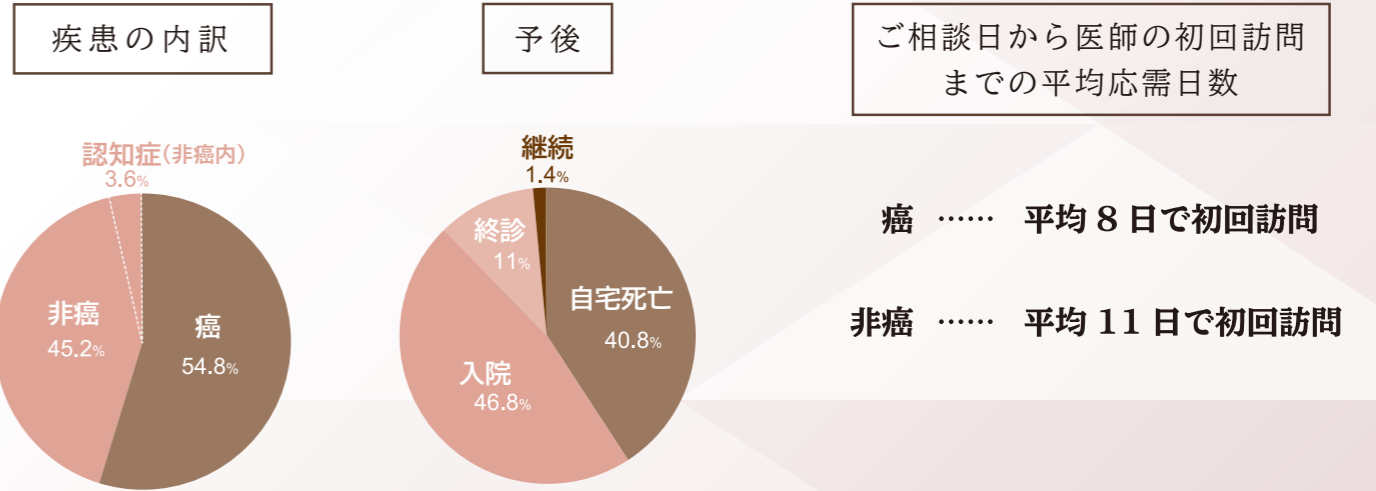
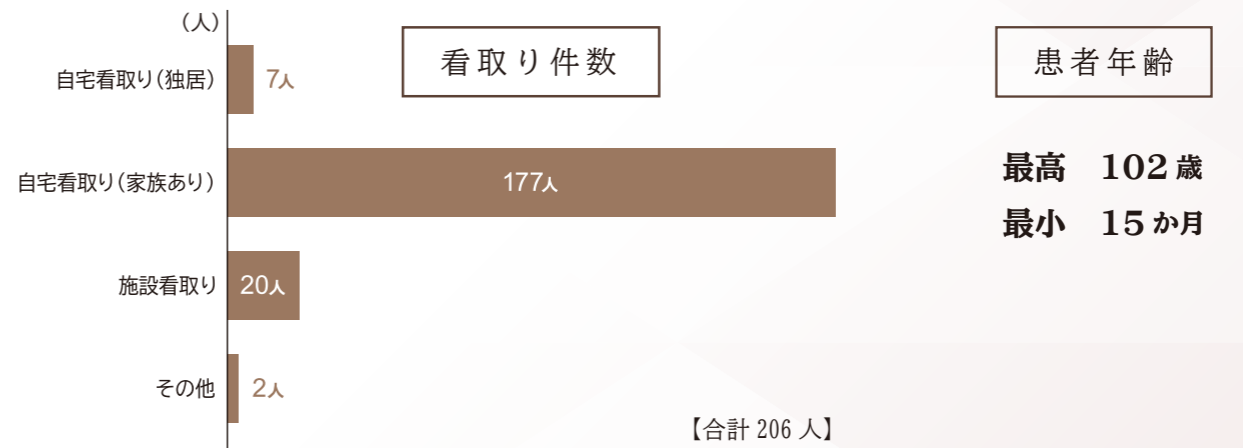
在宅療養支援ステーション 楓の風  
第3エリア長 所長(瀬谷) スーパーバイザー **渡辺 高志**

# 訪問診療活動実績

2019.01 ~ 2019.12

「かえでの風」は、住み慣れた自宅で最期まで安心して過ごしていただくため、ご相談いただいたすべての患者さんに質の高い訪問診療を行うことを目指しています。

相談件数 **673 件** / 訪問開始数 **500 件 74.3%**



楓の風 在宅医療・訪問看護の訪問地域

### 東京エリア

世田谷区/渋谷区/目黒区  
板橋区/練馬区/狛江市  
町田市/多摩市/八王子市  
国立市/国分寺市/府中市  
稲城市/立川市/日野市  
小金井市  
和光市(埼玉)/戸田市(埼玉)

### 川崎エリア

川崎市中原区・幸区・  
高津区・港北区・麻生区  
宮前区・多摩区

### 相模原・県央エリア

相模原市南区・中央区・緑区  
座間市/大和市/綾瀬市/  
厚木市/海老名市/愛川/  
伊勢原市

### 湘南エリア

藤沢市/茅ヶ崎市/  
鎌倉市/平塚市/  
大磯町/寒川町

### 横浜エリア

横浜市青葉区・緑区長津田・  
瀬谷区・戸塚区・金沢区・  
港南区・栄区・中区・西区・  
磯子区・保土ヶ谷区・泉区・  
旭区・都筑区/  
横須賀市/逗子市/葉山町

在宅療養支援ステーション楓の風  
総合受付  
**0120-632-001**  
受付時間/平日 9:00-17:00

在宅療養支援クリニックかえでの風  
医療相談室  
**0120-73-5511**  
受付時間/平日 9:00-17:00

